

①当院HPおよび外来掲示

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年5月 福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 講座主任

【研究課題名】

福島県における慢性低線量被爆が流産期妊娠に及ぼす影響についての研究

【研究期間】 平成23年5月～平成29年3月

【研究の意義・目的】東日本大震災につづいて、本来あってはならない東京電力福島第1原子力発電所事故が起きました。この影響で、福島県内の環境放射能は急激な上昇を示し、その減少は緩やかであるため慢性的な低線量被爆を生ずることになりました。この、慢性低線量被爆が初期妊娠に影響するか否かに関しては、国際放射線防護委員会（ICRP;1999）からの、50mGy(Sv)未満の胎児の放射線被曝は全く問題ないとの見解はあるものの、影響の有無を証明した報告は少ないのが現状です。今回の事故における環境放射能が初期妊娠に影響を及ぼさなかったという事実を証明することはICRPの見解を証明し、今後の放射線防護にとって有用なものとなることが期待されます。

【研究の方法】

- ・福島県内を6つの地域（県北、県中、県南、会津、いわき、相馬）に分け、それぞれの地域における全ての産婦人科診療機関を対象とします。
- ・対象の機関を受診され、妊娠と診断された患者さん全てが対象となります。
- ・正常に妊娠継続された方、不幸にも流産となってしまった方、妊娠中絶をされた方の人数を1ヶ月ごとに集計し、それまでの放射能積算値と合わせて検討します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者 (所属) 産科婦人科学講座 (職) 教授 (氏名) 藤森敬也
主任研究者 (所属) 産科婦人科学講座 (職) 講師 (氏名) 野村泰久
研究分担者 (所属) 産科婦人科学講座 (職) 助手 (氏名) 安田俊
研究分担者 (所属) 産科婦人科学講座 (職) 助手 (氏名) 経塚標

* 当研究は公立大学法人福島県立医科大学倫理委員会により承認されています。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 野村泰久

電話:024-547-1290 FAX:024-548-3878

E-mail:nomura@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX:024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 企画財務課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX:024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp